

第75回鹿児島県畜産共進会にて悲願の首席を獲得！

10月3日、始良中央家畜市場で開催された第75回鹿児島県畜産共進会（県共）において、県内各地から選抜された肉用牛73頭が出場し、月齢など5部門ごとに厳正な審査が行われました。本町からも肝属郡の父系群区（父の種雄牛が同一の3頭1組の区）の代表として村商株式会社の「ももか」号が出品され、愛牛と飼育者の一心同体で資質品位などを競い上位入賞を目指しました。会場では審査員が、体の幅や体長、栄養状態といった項目を念入りに確認しており、非常に緊張した時間が流れました。

そういった中、飼育者はもちろんのこと関係者と毎日朝早くから夕方遅くまで念入りな手入れや運動、調教など努力した結果、村商株式会社の「ももか」号の父系群は最優秀賞首席に輝き、他にも斉一性賞（3頭の外貌等が近似し、揃いの優れた区に贈られる賞）とともに栄えある九州農政局長賞にも輝きました。また、村商株式会社の「ももか」号は特別賞である肢蹄賞（脚の骨締まりや蹄の大きさ形等が最も優れた牛に贈られる賞）も受賞し、日々の努力が報われ、肝付牛の名声を大いに高めていただきました。

出品された皆さん、また応援してくださった皆さん大変お疲れ様でした。これからも肝付牛の名声を高め、育成技術の向上を目指して頑張ってください。



▲最優秀賞首席が決まった直後の様子



▲応援に駆けつけた皆さんと記念写真

秋の全国交通安全運動

9月21日から30日まで、「秋の全国交通安全運動」が実施されました。期間中は、「秋空にルールとマナーで鹿児島路」をスローガンに多彩な啓発活動が展開されました。夕暮れ時の早めのライト点灯や反射材の着用を呼びかける街頭キャンペーンが各地で実施されました。

肝付町では、24日に早朝から「出発式」を行い、その後、のぼり旗を持ってドライバーや歩行者に向けてへ啓発活動を行いました。その他、街頭キャンペーンとして、高山中学校前にてチラシや反射材用品の配布を行い、町民の交通安全意識の向上に努めました。



爽やかな酸味と香りの地域固有種「辺塚だいたい」はさみ入れ式

9月15日、北方地区の大迫辰巳さん宅の果樹園にて、辺塚だいたいはさみ入れ式が行われました。

会場では、収穫が行われたのち、これらを使用した料理のふるまいや、近日発売予定の「辺塚だいたい味」の季節限定のアルコール飲料の紹介など様々なPRが行われました。

生産者の永谷 亮太さんは、「認知度が広がっていった、栽培量とともに販売も伸びていければ」と意気込みを話されました。今年は品質が良く実の付きも多いことから、去年を上回る収穫量が見込まれています。



育成技術を研鑽し、肝付牛の名声を高めよう！秋季畜産共進会

8月25日、肝付町家畜管理センターにおいて令和8年度高山地域秋季畜産共進会（主催 高山和牛振興会 会長 鳥丸美知也）が盛大に開催されました。出品牛22頭の中から肉用牛若雌2部より村商株式会社の「ももか」号が栄えあるグランドチャンピオンに輝きました。

また、9月10日には肝属秋季畜産共進会が肝属中央家畜市場で開催され、郡内各市町から選抜された肉用牛62頭が出場しました。その中で若雌1区において村商株式会社の「ももか」号は見事最優秀賞1席に輝き、10月3日に始良中央家畜市場で開催される鹿児島県畜産共進会へ肝属郡代表（父系群区）として出品されることとなりました。

出品された愛牛と農家の皆さん大変お疲れ様でした。今後も、より良い牛の生産に励み、肝付牛の名声と銘柄確立に向けて頑張ってください。



▲町共進会グランドチャンピオンに輝いた村商株式会社の「ももか」号



▲高山和牛振興会の鳥丸会長と郡共進会出品者の皆さん

肝属秋季畜産共進会において本町出品代表牛（者）は下記のとおりです。（敬称略）

若雌1区（12～16ヶ月齢未満）	あん号	入田 修平（鳥越）
	ももか号	村商株式会社（本城下）
若雌2区（17～24ヶ月齢未満）	いくみ35号	田代 淳平（白坂）
	ぽおたま号	内倉 弘幸（水窪）
成雌区	ふくこ号	園田 幸治（岩屋）